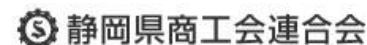


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年4月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和7年4月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年4月30日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち35商工会より回答）【回収率100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【物価や仕入価格の高騰を受け価格転嫁が進む一方、消費意欲の低下や米国関税措置の先行き不安等を要因に業況の改善は進まず、全体の業況は2期連続で悪化した】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-28.8（前月-20.1、前年同月-16.2）で、前月比8.7pt悪化した。食料品関連の製造・小売業、機械金属の製造業を中心に、物価や仕入価格の高騰等を受け価格転嫁が進むものの、消費意欲の低下や米国関税措置の先行き不透明な状況等により、業況の改善が進まず、厳しい業況が続いている。

【製造業】

業況は-30.5（前月-20.5、前年同月-15.6）と前月に比べ10.0pt悪化した。食料品・機械金属業では価格転嫁が進む一方、仕入価格や人件費の更なる上昇により利益が確保できず、また米国の関税措置の影響により先行き不透明な状況が続いている。

【建設業】

業況は-28.6（前月-14.7、前年同月-17.6）と前月に比べ13.9pt悪化した。人手不足と資材高騰が続き、利幅の縮小や金利引上げ等の影響を受け、経営環境の厳しさが増している。

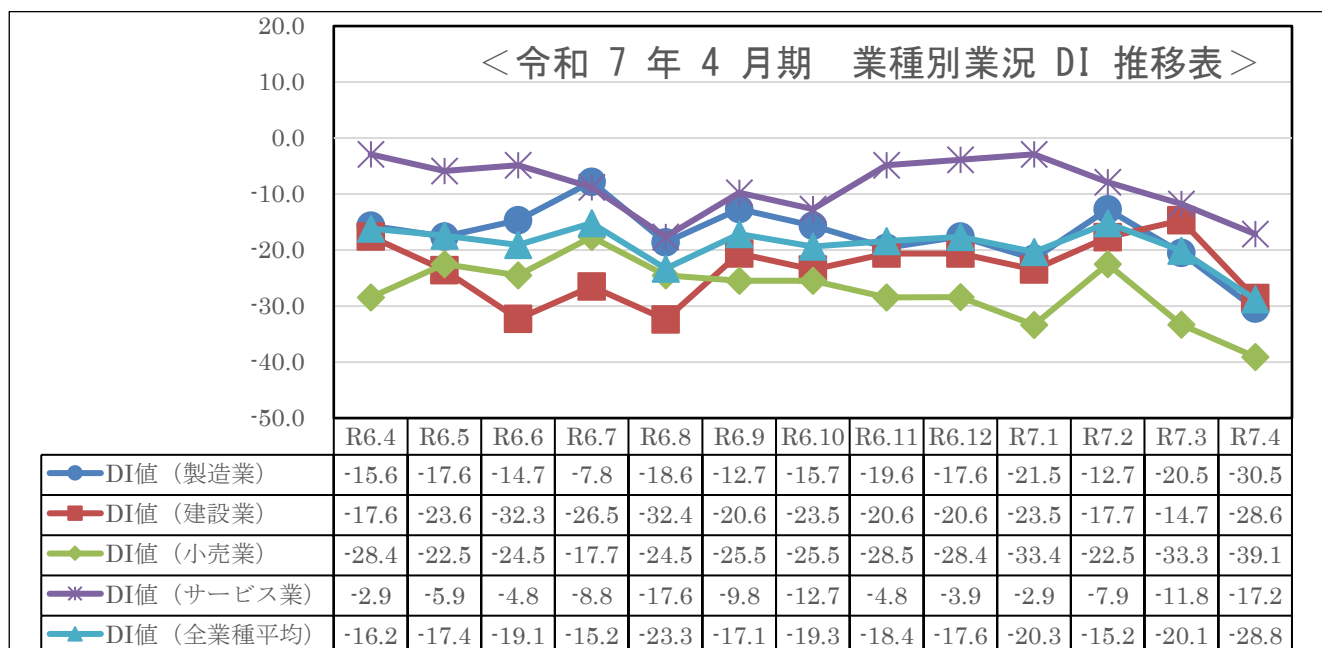
【小売業】

業況は-39.1（前月-33.3、前年同月-28.4）と前月に比べ5.8pt悪化した。価格転嫁の動きが広がるものの、食料品は相次ぐ価格上昇で消費者意欲が低下し、厳しい業況が続いている。

【サービス業】

業況は-17.2（前月-11.8、前年同月-2.9）と前月に比べ5.4pt悪化した。旅館業では観光流入増により売上は伸びたが、仕入価格上昇等の影響で業況の改善は停滞している。理美容業は物価・人件費高騰を受け値上げを実施するも、顧客動向に大きな変化は見られなかった。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・食料品製造業では仕入価格の高騰等が続き、消費者の買い控えに繋がっている。（伊豆）
- ・仕入価格や諸経費等の高止まりが続き、物価高騰により売上は伸びるも利益が追いつかない状況にある。（富士駿東）
- ・食料品の価格高騰が顕著であり仕入価格が上昇するものの、価格転嫁は進んでいる。（中部）
- ・材料費や光熱費の高騰、人件費の増加に加え、米国の関税措置の影響により、先行き不透明な状況が続いている。（中東遠）
- ・機械金属業では価格転嫁が進んでいるが、既存の取引先のみでは売上増加が難しく、新たな販路開拓に向けた製品改良等の取組みを検討している。（西遠）

【建設業】

- ・人材確保難が継続しており、需要よりも人手不足が深刻な課題となっている。（伊豆）
- ・人手不足の声が多く聞かれ、経営者含め総動員で対応する事業者も見られる。（富士駿東）
- ・ハウスメーカーの下請けやリフォーム需要は多いが、材料や燃料費の高騰により利幅が縮小し、厳しい状況が続いている。（中部）
- ・資材価格の高騰に伴い値上げをしており、採算面では問題は生じていないが、金利引き上げの影響により新築案件の減少が懸念されている。（中東遠）
- ・電気工事業では、受注は昨年比で増加しているが、部品価格の高騰により厳しい業況が続いているため、設備導入により工事需要への対応力を高め、案件獲得に繋げている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

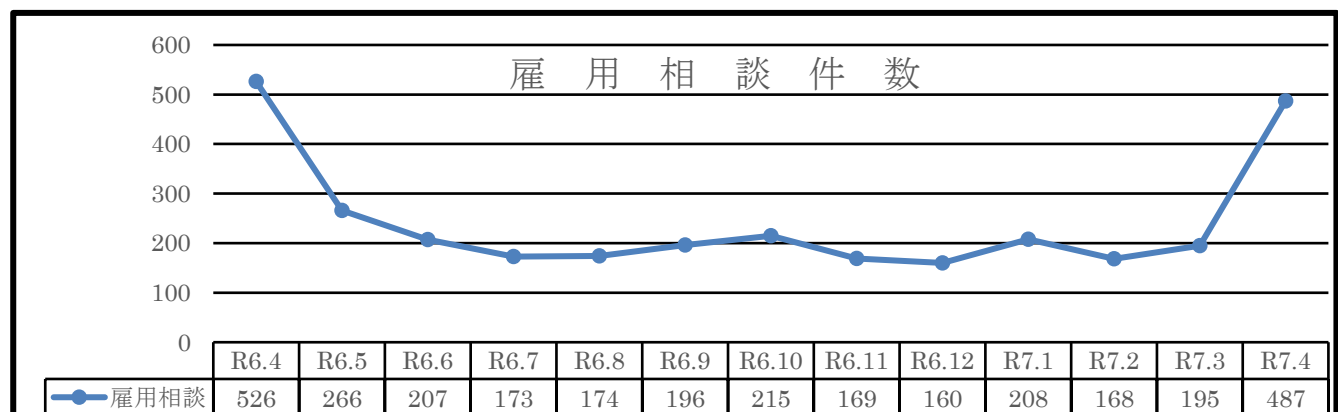
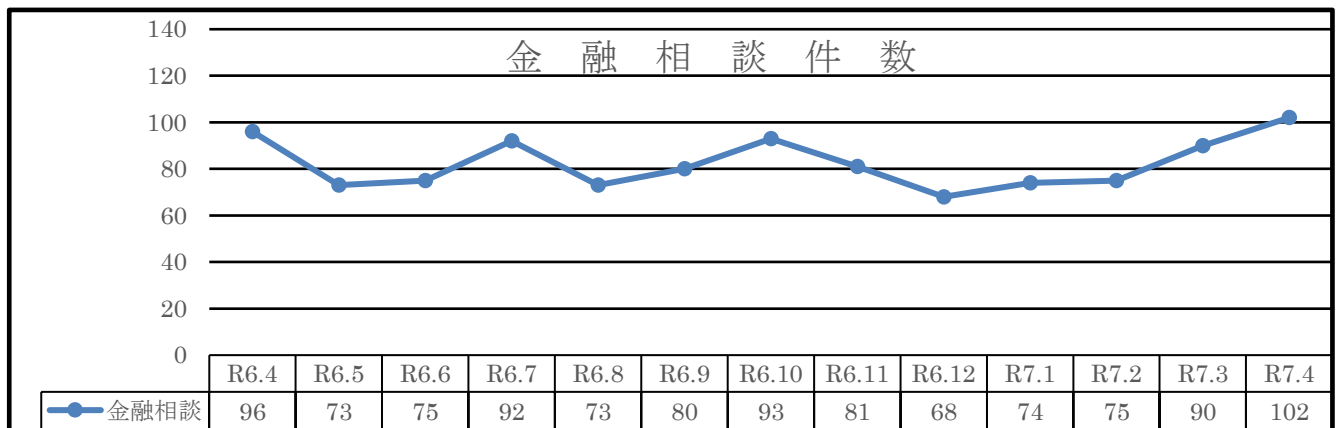
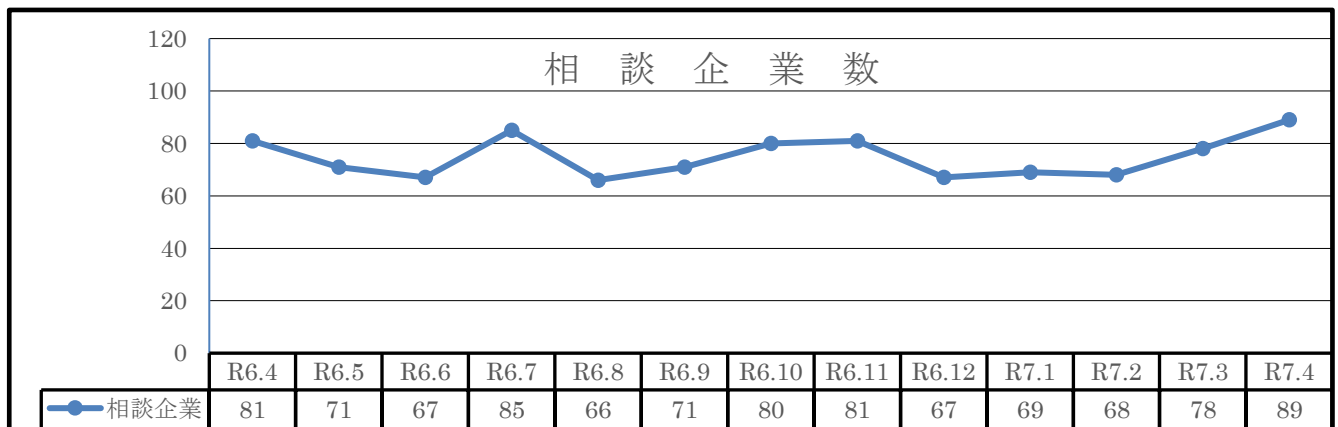
- ・耐久消費財では仕入単価の上昇が続いているものの、顧客の価格転嫁への理解が進んでおり、販売に大きな影響は見られない。（伊豆）
- ・食料品では米をはじめとする食料品の価格高騰を受け、断続的に値上げを行っているが、仕入価格の上昇に対して価格転嫁が追いついていない状況である。（富士駿東）
- ・食料品では4月初旬から価格の相次ぐ上昇により、消費者は買い控えをしている。（中部）
- ・耐久消費財では価格高騰と賃金の伸び悩みで消費意欲の低下が見受けられる。（中東遠）
- ・衣料品では取引先の問屋が廃業する等、厳しい経営環境が続いている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業では観光流入客数の増加に伴い前年比売上は伸長したものの、仕入等の売上原価が大幅に上昇しており、業況や収益率の改善は停滞している。（伊豆）
- ・予約は埋まっているが、人手不足と物価高騰の影響により経営状況は厳しい。（富士駿東）
- ・洗濯業ではイベントの緩和により、ユニフォーム等の受注は増加傾向にある。（中部）
- ・旅館業（民泊）では、地方・僻地に立地していることから、インバウンド需要の恩恵を得られていないことが経営上の課題となっている。（中東遠）
- ・理美容業では物価・人件費高騰に伴い値上げを実施したが顧客への影響はなかった。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和7年4月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	89	78	11
【金融相談件数】	102	90	12
新規融資(借換えを除く)	76	54	22
既存債務の借換え	23	31	-8
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	2	5	-3
【雇用相談件数】	487	195	292



【金融相談】

金融相談件数は 102 件と前月 (90 件) に比べ 12 件増加した。創業・設備資金の相談が増加した。また物価高騰による仕入単価上昇が資金繰りを圧迫し、運転資金確保の相談も増えている。

＜経営指導員コメント＞

- ・創業関連の金融相談が多く、主に小口資金や移住者創業に関する内容であった。(伊豆)
- ・設備資金に関する新規相談が多い。また創業資金に関する相談や申込も例年よりも多い印象である。(富士駿東)
- ・従業員の職場環境改善に係る設備資金の申込みがあった。設備資金に関する融資相談が増加している。(中部)
- ・物価の高騰により仕入単価が上昇し、依然として資金繰りは厳しい。小口融資について数件相談があった。(中東遠)
- ・米国関税措置の影響による景況の不透明感を受け、運転資金の確保を強化したいという相談があった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、487 件と前月 (195 件) に比べ 292 件増加した。労働保険の年度更新に伴い、人手不足に関する声が多く寄せられる。また採用活動や社会保険加入等に関する相談が増加した。

＜経営指導員コメント＞

- ・建設業、製造業を中心に新卒採用よりも中途採用を希望する事業所の割合が高い。(伊豆)
- ・労働保険の年度更新に際し、多くの事業所から人手不足の声が寄せられた。(富士駿東)
- ・従業員の確保を目的に、個人事業主による社会保険の加入等、労働環境改善の取組みが進んでいる。(中部)
- ・年度替わりに伴い、雇用保険の資格取得、喪失に関する相談や手続きが多くあった(中東遠)
- ・人手不足と人件費の負担に悩む事業所が多く、求人を出すも外国人の応募が多い。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・4/1 (火) から「みなみいず応援プレミアム付商品券」の利用が開始された。物価高騰の影響もあり、消費者は主に食材を中心に利用する傾向にある。一方、事業者については、資金繰り面から、商品券の換金を例年に比べ早期かつ頻繁に行う印象である。(南伊豆町)
- ・4/23 (水) ～5/6 (火) に土肥支部事業部で「およげ！土肥のぼり！」を開催した。(伊豆市)
- ・4/5 (土) ～6 (日) に「第 32 回かんばら御殿山さくらまつり」が開催された。(静岡市清水)
- ・清水魚市場河岸の市では、新しいちば館がオープンし、駿河湾フェリーも清水港から江尻埠頭に移転し、施設の売上が増加している。(静岡市清水)
- ・4/19 (土) ～20 (日) にマリンパーク御前崎にて、賑わいづくり事業として愛犬家や親子連れをメインターゲットにしたイベント「御前崎シーサイドピクニック 2025」を開催した。天候にも恵まれ、2 日間で 6,000 人が来場した。(御前崎市)
- ・4/4 (金) ～6 (日) に「遠州横須賀三熊野神社大祭」が開催された。(掛川みなみ)
- ・4/20 (日) にどんどこあさばの「どんどこ創業市」と同時開催で、商工会主催の「第 3 回あさば de マルシェ」を開催した。従来の野菜中心であった軽トラ市スタイルからイメージを一新し、クラフト雑貨や木工品、植物、キッチンカー等が出店し、多くの来場者で賑わった。また、新規出店者向けに出店無料のチャレンジ枠を設け、出店機会を提供すると共に、テスト販売の場として活用された。(浅羽町)
- ・4/1 (火) に湖西市の「新居弁天海釣公園」南側に、津波対策の命山として整備された「今切 (いまぎれ) 丘」が完成しオープンした。海拔 23m の高さで最大 750 人が利用できる避難施設で、頂上からは浜名湖や太平洋、遠くは富士山や南アルプスまで見渡せる絶景ポイントにもなっている。公募され決定した愛称「今切の丘」として一般開放され、誰もが利用できる浜名湖観光の新名所が誕生した。(新居町)